

全世帯配布
 ◆発行所 佐賀県武雄市役所 (TEL 2-2111)
 ◆発行兼編集人 総務課長 末藤 竹吉
 ◆印刷所 有限会社 御厨印刷所 (TEL 2-2243, 2-2016)

市長室の窓

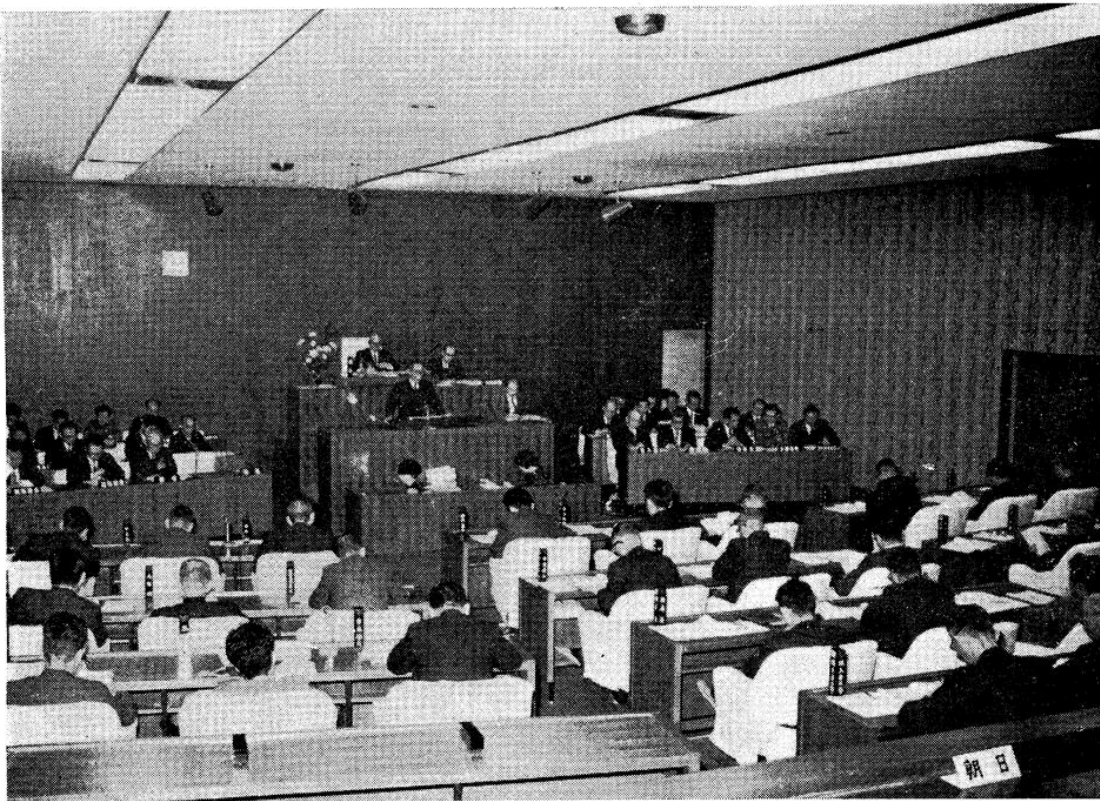
本市市長は、工場誘致、白岩一帯の公園化、区画整理事業、本町、松原の商店街近代化などのため、3月24日から3月31日まで有田観光課長、副島都市計画課長を随行し、都市局、住宅局に立ち寄り、あと大阪に企業誘致のため出張しました。

市は、みどりにあふれた公害のない理想的な工場誘致をめざしているが、すでに大手電子メーカー・立石電機の誘致に

成功。これにひきつづき企業側の希望する地理的条件、受入体制等が一致した大阪の電子メーカーの誘致が内定しました。また、駅南部開発の一環として進めている区画整理、白岩一帯の開発、本町、松原商店街の近代化のため関係官庁と打ちあわせましたが、白岩一帯の公園化については、45年度の補助対象事業として明るい見通しがつきました。



| | | | |
|---------------|---------|---|---------|
| 市の人口 (3月末日現在) | | | |
| 総人口 | 36,191人 | 男 | 16,844人 |
| 世帯数 | 8,331戸 | 女 | 19,347人 |



§ ……わたしたちの市の1年間の予算を
 審議する市議会 …… §

昭和45年度

当初は骨格予算で
 事業費は六月に肉付

45年度の当初予算が決まりました。この間の予算は、予算の編成
 時期が市長の改選期であったため、人件費、物件費、扶助費など義務的経費と、朝日小学校危
 険校舍改築、溜池補修、雨期前に事業を完了したい費用を上げ
 た骨格予算を編成。6月の議会に

国、県の財源が半分

才入

市税収入は23、36%

ところで才入の方は、九億七千八百七十七万円のうち、29・37%にあたる二億八千五百四十三万円が地方交付税であり、さらに17・98%の一億七千四百七十六万円は、国、県の支出金です。いいかえれば市が自由に使える自主財源の一つである市税は、才入全体の23・36%にあたる二億二千七百二十万円です。

このほかに諸収入(競輪の収益)が、二億二百六十五万円と才入の20・85%をしめています。

つまり、国や県からくる特定財源(地方交付税、国、県支出金)が、才入全体の約半分(47・35%)で、市が自由に使える財源が、44・21%となっています。

才出

つきは私たちの生活に直接つながらる予算の使いみち、つまり才出の方のおもなものを紹介し

四月号

(C.M.のページへ)

米にかわる

適地作物の奨励

農業予算6,300余万円

水田の整理に力点

日本経済の著しい発展は、農業の振興に大きい影響を与えています。市は、農業を守る立場から農業振興地域を明らかにして、その土地に応じた土地利用の計画を立てる準備に取りかかっています。半面、米の生産調整による影響は大きく、稲作の作付面積を減らすより、農家のみなさんに協力を求め、その解決策として適地作物の奨励と、施設園芸の開拓に重点をおいた施策を講じ、農家経済の安定をはかることにしています。

また、農耕に一日も欠かすことが出来ない農道、水路、頭首工の整備を行ない水稲栽培に必要な水源確保のため若木町川内の黒木の元、武内町抽の木原の飯盛溜池の補修を計画しています。

ほ場整備事業で

水田面積の拡大

農業の近代化事業として、水田一枚の面積を約三アールの広さに統一するほ場整備事業は、武内町の水田三百ヘクタールを対象に農道、用排水路を完備することにしています。

武内の多々良地区の水田も第二次農業構造改善で整備する計画をたてています。

この他に、市農協会館の建設助成、市農業倉庫の移転補助、有線放送事業の補助、災害融資、近代化資金の利子補給の予算も計上しています。

溝の上地区に

泉源の開発

観光開発の一環として武雄町溝の上地区に泉源の開発のためのボーリングを行ない魅力ある観光地への脱皮をめざしています。



農業の近代化事業として、武内町の水田面積を約三アールの広さに統一するほ場整備事業は、武内町の水田三百ヘクタールを対象に農道、用排水路を完備することにしています。

市道の施設やてなおし

市道の維持修繕は、ガラス、ヒューム管などの原材料に三百万円、市道の修繕に要する費用二百万円、市道の施設改良の工事請負費二百三十万円、用地購入費に若干の費用をあげています。

湖の尾ダムが完成

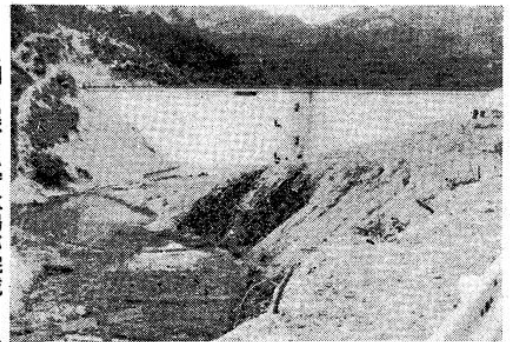
送水施設に着手

45年3月末に貯水池（湖の尾ダム）が完成し、いよいよ浄水施設、送水施設、配水施設に着手することになりました。これらの費用として一億八千二百二十

の開発にものりだしています。三千五百余万円

市内企業に貸し付け

中小企業金融対策として市内商工業者に三千五百七十万円を貸し付けることにしています。また、既存企業の育成奨励のため、工場や店舗を新設したり増設した場合に助成金を出すことにしています。



湖ノ尾ダム貯水場が完成（貯水量三〇万トン）

二万円をあげています。

教育予算・1億7400万円

朝日小学校校舎

今夏に完成の予定

学校建設は、朝日小学校危険校舎の改築を昨年から行なっており、工事も順調に進み今夏には鉄筋三階建ての近代校舎がその偉容を現わすことと見られています。

また、東川登小学校校舎の改築事業は、今、設計に取りかかっています。設計が完了後行なうことにしています。

そのほか、東川登小学校の水源貯水施設、武雄小学校旧校舎解体後の整地工事、各小学校校舎の補修工事、給食用の備品

44年度発生

災害復旧に着手

42年の集中豪雨による災害も44年度で終り、ことしから43年と44年に起った災害の復旧に着手することになりました。

この事業に必要な経費二千八百六十七万五千円と、農林施設の災害復旧費（42年発生分の残り分）三千四百十八万円を計上しています。

予防接種の実施

市民の健康を守る衛生事業はインフルエンザ、日本脳炎などに対するワクチン伝染病や結核予防、八十

才以上の高令者の療養付加給付の費用六百二十九万一千円をあげています。

社会教育は

婦人会を母体に

市民意識の高揚と、公民化のモラル向上を目的とする社会教育は、婦人会、青年団その他文化団体などを母体として活躍しています。これら諸団体への助成金、成人式、青少年問題協議会、公民館の運営、映写機、フィルムなどの購入、図書館、文化財保護、市体育協会への助成、駅伝、県体などに要する経費、総額七百六十三万八千円を計上しています。

生活保護費が大半年

生活保護、保育費、老人福祉の扶助費がその大半をしめる民生費は、総額で一億六千八百五十九万円をあげていますが、市内に住んでおられる85才以上のお年寄りは年三千万円の敬老年金を受けることができ

新しい授産物で

服・マットの作成

また、精薄者、身体障害者の方への扶助、老人家庭奉仕員の費用などもあげており、新しい授産物で服・マットの作成

技能の取得と自立更生をめざす授産場は、昨年新しく完成し、被服、タオル、マットなどを作る作業を進めています。これらに要する費用として三百九十九万七千円をあげ市民生活の一助に役立てています。

米・746トンの減産



§…減産を余儀なくされた当市の農業
減米は、747トン……44年10月朝日町甘久にて…§

米の生産調整

農家の方のご協力を

米の生産調整が円滑、適正に実施できるように総合農政推進協議会ができました。

やさいなどの消費がふえ、米の消費量は最近5か年間に一〇〇万トン以上も減少、いまでは一年間に一、二〇〇万トンほどの消費です。

古米の在庫は、約五六〇万トンあり、約八〇〇万トンの在庫が見込まれます。さらに、この毎、一五〇〜二〇〇万トンずつ過剰米がふえることになり

調整は農家の自衛手段

米の過剰は、食糧管理制度の運営をむずかしくしています。

食糧管理制度は、戦中、戦後を通じて、国民の食糧確保、消費者の家計安定、農家経済の向上に大きな役割を果たしてきました。しかし米の在庫はふえつづけ、これ以上の収納はできません。

政府は、買入米トンあたり三万七千円を負担しているため、昭和44年度は農林関係予算の四〇%弱、約三、〇〇〇億円を食糧特別会計に繰り入れて

町村、民間などの水田買上げ転用による減産を見込んでいます

古米在庫は 約五六〇トン

米の生産調整は、なぜ必要なのでしょう。

農家の努力と品種改良、技術の向上、土地改良などで収量がふえたこと、作付面積の増加で、毎年一、四〇〇万トン以上もとれています。これに対して、米の消費量は年々減少していきま

米の需要増に努力

生産をおさえるだけでなく、消費をふやすことも必要です。

転作補償金は 反当三五、〇七三元

生産調整による転作、休耕地に対して、反(10アール)当たり

全国平均三五、〇七三元を補償します。それぞれの水田について、共済の基準反収を基礎にして計算することになっています

しかし、調整による減反は農家経済を苦しめます。転作指導を徹底し、地域の特性を考え

討中です。

海外への輸出、援助にも努めています。すでに、韓国、パキスタン、インドネシアに援助しました。沖縄へも輸出する計画です。

畜産、そ菜、果樹など安心して生産できる施策

農家のみなさんも、生産調整に協力をし、安心して米づくりができるよう食糧管理制度を守りたいものです。

第二回農林振興祭

功労者7人を表彰

曲り角にたたさされている農業の発展をはかろうと、市内農林

○余人が集まり3月28日午後10時から市農協会館で行なわれ



§…農業の発展につくし表彰を受けられた7氏…§

発展に大きく貢献された農業後継者7人に、谷口助役から表彰状と記念品がおくられた。

●古場豊司氏 (74才、武雄町溝ノ上) 昭和15年溝の上実行組合長を皮切りに、農協理事20年など

●北川理八氏 (71才、朝日町川上) 昭和13年朝日村産業組合監事に就任以来、各種農業団体の健全な育成に大きく貢献。

●草津作一氏 (69才、武内町柿田代) 終戦後の食糧難時代に供米日本一の大偉業の成就に貢献。

●石橋次郎一氏 (68才、西川登町矢管) 昭和10年以來、みかん植栽の気運を盛りあげ団地の基礎づくりの他、そさい組合の創設など農業の発展に寄与。

●満武健二氏 (61才、若木町皿宿) 昭和4年から産業組合、農協などの農業団体の役員として

●山崎寛行氏 (47才、橋町小野原) 橋町の酪農振興をはかるため昭和32年酪農組合を設立、初代組合長として乳質の改善など酪農経営の近代化に貢献。

●橋口幸雄氏 (40才、東川登町百木) 武雄市特産物の袴野いちご栽培振興のため、いちご組合を結成、その初代組合長として、品種の改良統一など特産物の先駆者としての功績。

諸石勝喜氏 教育委員に再選

諸石勝喜氏(61才、東川登町袴野)は、3月20日教育委員に再選されました。

同氏は、昭和3年3月、佐賀県師範学校専攻科卒業後、多年子弟の教育にあたり、昭和28年3月、杵島郡大町小学校長を最後に教壇をおり昭和28年から7年間、大町町教育委員会委員長を歴任し、4年間武雄市教育委員をつとめる。

監査委員に

山下三郎氏再選

山下三郎氏(68才、武雄町新町)は、3月20日監査委員に再選されました。

同氏は、県立伊万里商業高校を卒業後、昭和13年7月、武雄町役場に奉職、町村合併後もひきつづき市職員として勤務。昭和30年7月退職、昭和39年から

3年間、監査委員をつとめる。土橋清一氏も再選

土橋清一氏(65才、朝日町高橋)は、3月20日、再び固定資産評価審査委員会委員に選任されました。

同氏は、久間高等学校卒業後、大工業に専念、二級建築士免許証を受領し、設計事務所を開業。昭和29年から現在まで固定資産評価審査委員としてつとめる。

健康の相談は

市の保健婦さんへ

市内(ちやん)を育てる 赤ちゃん 赤ちゃんを育てる

健康の相談は、妊娠の初期に、大事といわれています。市の保健衛生課は、毎月、日を定めて妊婦の心得や育児等の相談に応じています。



毎月、図書館では、新しい図書を購入し、市民のみならずご利用をおまちしています。開館時間 6月、10月、9時～17時30分 11月、5月、8時30分～17時

きゆう食

東川登小学校三年 横田弘幸

音楽がきこえてくる。たのしいきゆう食。手をあらって待つている人。エプロンをはいてるお母さん。急に教室の中が騒がしくなる。きょうのおかずは何だろう。チュル、チュル、チュル。おやうどんのおいしいにおい。みんな、きょうきよく食べている。みんなの顔が赤い。

戸籍法かわる

出生・死亡の本籍地、届出は所在地で発生地。ことしの4月1日から戸籍法の一部が変わりました。



安元二年(一、一七六)天

城山の巻狩りで、曾我兄弟の父河津三郎祐泰は従兄弟の工藤祐経に暗殺されました。幼ない兄弟は、母の再婚さきの曾我祐信のところで、武芸をはげみ、仇討ちの機会を待っていました。

それから十七年後の建久四年五月、源頼朝は富士の裾野で巻狩りをしました。この巻狩りに仇敵工藤祐経も参加す

兄十郎の許婚者であった大磯の虎御前は仇討ちの結果を知ると、悲嘆の涙に泣いていましたが、ついに意を決して黒髪をふつり切り落して尼になり、兄弟の冥福を祈るため諸国行脚の旅にのびりました。虎御前は四国と中国にそれぞれ石塔婆を建て、兄弟の冥

曾我兄弟の石塔婆



「第三の石塔婆は武雄の地に」と旅の疲れの重い足で武雄へと運びました。そして清浄の地を求めて、八並に大きい石塔婆を建てまし

この大きい塔のとき、文政十一年(一、八二八)の子(ね)の年の大風のとき、笠が中天高く吹き飛ばされたという伝承がありますが、大正十三年の内務省の調査では、非常に優秀だとの折紙がつけられ、保存費を支給する

- ① 4月8日、選挙人名簿作成基準日
- ② 4月19日～5月2日まで、選挙人名簿の縦覧(この期間に異議の申し出が出来る)
- ③ 5月16日、選挙人名簿の確定
- ④ 5月16日～5月25日、審議会委員の立候補届出
- ⑤ 6月2日、選挙場、投票時間
- ⑥ 6月7日、投票日(午前7時から午後4時まで)

- 〇参千円、久保常一(橋町上野、亡妻、ミカ)
- 〇五千円、土木男(武雄町竹下町、亡母、ハヤ)
- 〇五千円、早瀬フサエ(武雄町川良、亡母、モン)
- 〇八千円、鶴田正信(朝日町北上滝、亡父、藤次郎)
- 〇壹万円、戸田政男(武雄町松原、亡父、初次)
- 〇六千円、洲アサヨ(武雄町川良、亡夫、賢吾)
- 〇壹万円、坂本良治(武雄町宮野町、亡妻、ケシ)
- 〇壹万円、青木肇(橋町大日、亡妻、ミ子)
- 〇参千円、野口忠助(武内町多々良、亡母、ナカ)
- 〇五千円、境吉光(武雄町川良、亡母、ノシ)
- 〇壹万五千円、島本清(武雄町桜町、亡妻、澄子)
- 〇五千円、宮地キヨ(武雄町上西山、亡母、マツ)
- 〇市社会福祉事業へ寄付
- 〇六百円、陣内秋次(御船山観光ホテル接待係)
- 〇五百円、長峰正治(熊本県八代市植柳上町八七二)
- 〇壹千貳百円、宮原祥一郎(中原義治(武雄市役所))
- 〇五千貳百円、金丸政雄(武雄町下西山)
- 〇壹千円、阿部照雄(北九州小倉区下城野四三)



おりがどうございました。つきの方から武雄市社会福祉事業費として、ご寄付をいただきましたので、厚くお礼申し上げます。(敬称略)